

## 全国発達障害実践研究集会での出前講座実施報告

名古屋自然保護官事務所では、2月8日に愛知県立大学にて全国発達障害実践研究集会実行委員会が開催した「全国発達障害実践研究集会第10回記念大会」の中で、分科会と同時に開催されたオープンカレッジにて出前講座を実施しました。

この研究集会は、学習や発達に困難を抱える人たちへの教育と自立支援における全国の実践を交流し、学びあい、研究することを目的とした全国規模の集会です。

今回の出前講座は「藤前干潟の自然と生き物の魅力にせまる！」をテーマに実施し、小学校5年生～50歳代まで幅広い年代層の方々が受講されました。

はじめに、干潟の簡単な解説と藤前干潟に住む多様な生き物の紹介を行い、これらに関連する簡単なクイズも出題しました。藤前干潟を知っている受講者の方が意外に多く、驚きました。

次に、干潟に住む生き物のイラストが描かれたカードを各グループに配布し、色鉛筆で自由に着色してもらい、生物の多様性を実感してもらいました。生き物本来の体色を再現して着色する方やカラフルでカワイイ生き物に仕立てる方もいました。

さらに、着色した生き物カードを紙コップに貼ってもらい、食物連鎖の順にコップを並べ、生態ピラミッドを作成してもらいました。完成したピラミッドをよく観察してもらい、干潟ではこのような食物連鎖が成り立っていることを解説しました。また、ピラミッド下段のコップを取り除くとピラミッドは崩れてしまうので、食物連鎖を構成する生き物が一つでも欠けると生態系のバランスが崩れることを知ってもらいました。

簡単な生態ピラミッドを作成する作業を通して、干潟における生態系の重要性を少しでも伝えることができたかと思います。

参加者の皆さんには、私のお話を耳を傾け、手を動かす作業では互いに協力し合って楽しみながら取り組んでいただきました。



【講義の様子】



【紙コップで考える生態ピラミッド】

### ◆実施概要◆

実施日：平成26年2月8日（土）13:30～14:30  
場所：愛知県立大学 長久手キャンパス（長久手市）  
対象：小学校5年生～50歳代（約40名）  
対応：名古屋自然保護官事務所職員3名

### ◆講座の内容◆

| テーマ | 藤前干潟の自然と生き物の魅力にせまる  |
|-----|---|
|     | <ol style="list-style-type: none"><li>「ひがた」ってなに？<ul style="list-style-type: none"><li>・何からできているのか、どこにあるのか？</li><li>・干潟の不思議な特徴</li></ul></li><li>干潟に住む多様な生き物たち<ul style="list-style-type: none"><li>・貝類、カニ類、鳥類の紹介</li></ul></li><li>作ってみよう！命のつながり<ul style="list-style-type: none"><li>・生き物の多様性（色塗り）</li><li>・生態ピラミッドの作成</li></ul></li></ol> |



2014年2月12日  
名古屋自然保護官事務所  
アクティブルンジャー 上野淳一